



令和3年7月9日

【本件リリース先】  
文部科学記者会、科学記者会、  
広島大学関係報道機関

< 本件報道については、記者説明会終了後にお願いします >

## 記者説明会（7月15日（木）13時・霞キャンパス）のご案内

【クラウドファンディング公開のご案内】  
『変異株中和抗体カクテル』でだれもが安心して暮らせる世界に！  
～ 新型コロナウイルス次世代治療薬への挑戦 ～

「広島大学クラウドファンディング」(READYFOR 提携)として、以下のプロジェクトが公開となります。

『変異株中和抗体カクテル』でだれもが安心して暮らせる世界に！  
～ 新型コロナウイルス次世代治療薬への挑戦～

公開期間：2021年7月15日（木）～9月10日（金） 目標額：400万円

これに伴い、記者説明会を下記のとおり開催いたします。  
ご多忙とは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内いたします。

### 記

【日時】令和3年7月15日（木）13時～14時（12時30分から受付）

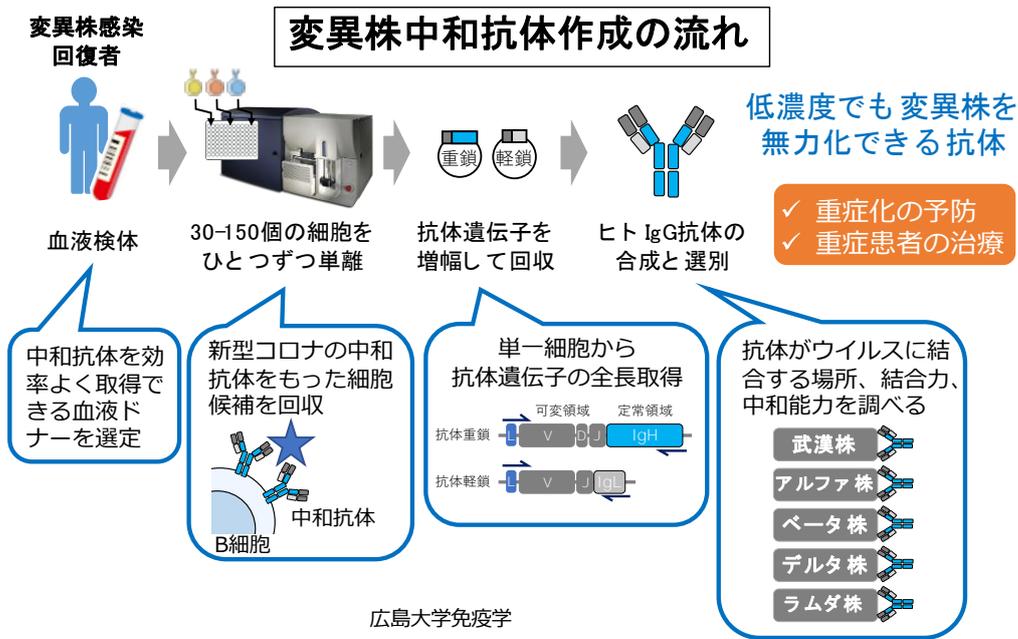
【場所】広島大学霞キャンパス 基礎・社会医学研究棟2階 セミナー室2  
（広島市南区霞 1-2-3）

【出席者】広島大学大学院医系科学研究科 免疫学 教授 保田 朋波流

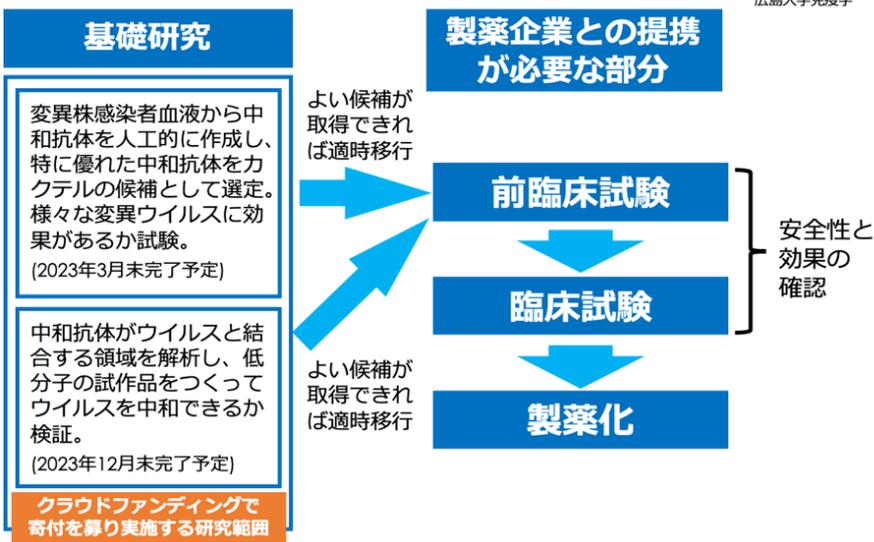
### 【プロジェクト概要】

新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、今後感染者数が少なくなればパンデミック前の生活に戻れるかもしれませんが、ワクチン接種は安全に長期的な免疫を獲得する最良の方法です。感染者の重症化を防ぎ、致死の危険性を大きく低下させます。その一方で、基礎疾患やアレルギーのある方、12歳未満のお子さんなどワクチンを打てない方もたくさんおられます。それだけでなく、ワクチンで獲得した免疫を逃れる変異株が今後出現する可能性もないとは言いきれません。その場合、治療薬の存在が生命線となり、**変異株に対するワクチンと治療薬の開発は両輪で開発を進めることが重要**です。

ウイルスに結合して無力化する抗体は『中和抗体』と呼ばれ、新型コロナウイルス感染症の特効薬として期待されています。私たちの研究室では、これまでに「新型コロナウイルス変異株に結合してウイルスを無力化する完全ヒト抗体を10日間で人工的に作り出す技術」を開発しています。この新たな技術を用いることで、これから出現する変異株を中和する抗体を事前に取得可能であることを、国内で初めて実証しました。中和抗体薬は、感染者の死亡率低下や感染の封じ込めにつながることから世界中で開発が進められ実用化が間近とも言われています。一方で、これまで報告された中和抗体の多くは性能が不十分だったり、新しい変異株への効果が弱いなどの理由で開発が断念されています。



## 新型コロナ中和抗体カクテルおよび低分子中和抗体の開発



中和抗体薬の実用化には時間がかかるため、1年後、2年後に発生するかもしれない変異株に対する中和抗体は今から取得しておく必要があります。今回私たちは、①新型コロナウイルス変異株に対する中和抗体を数年先まで取得し、先々の変異株にも対応する中和抗体カクテルを作り上げること、②中和抗体を迅速に医薬品化するための画期的な技術開発を進めることを目的とした研究開発プロジェクトをクラウドファンディングにより実施したいと考えております。

これから先いつまで続くかわからない新型コロナウイルスの変異との戦いにおいて、日本独自の抗体治療戦略を確立するためにも、多くの皆様に今回のプロジェクトへのご協力とご理解を賜りたいと考えました。このクラウドファンディングを通じて、病気の治療につながる基礎研究を、皆様と一緒に進めさせて頂く体験を共有できれば嬉しく思います。

どうか、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科  
 免疫学研究室 教授：保田 朋波流（やすだ ともはる）  
 TEL：082-257-5175 / E-mail：yasudat@hiroshima-u.ac.jp  
 発信枚数：A4版 3枚（本票含む）